

令和5年度 第8回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年10月4日（水） 13時00分から14時15分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、清水産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・9月26日から29日の間で、次年度の戦略計画の策定及び予算編成に向けた重点事業に関するヒアリングを行い、来年度予算の編成作業が終わる2月までの一連の過程が始まった。これからヒアリングの結果をまとめ、予算編成方針を作成し、要求、査定と進んでいくが、予算が出来上がるまで続いていく。ぜひいろいろな検討や情報収集をしていただき、より良い施策となるよう、努力を続けていただきたい。私からも新しい情報や新しい発想があれば皆さんにお伝えしていく。
- ・10月は出張で不在になることが多い。連絡や相談がしづらい状況が想定されるが、いろいろな手段を使って、お互いに情報共有や連絡が疎かにならないようにしたい。前倒しで相談や協議をしていただきたい。

＜副市長＞

- ・執行機関側が作成する行政評価の資料は丁寧で細かく量が多いため、大変な労力を費やしている。議会側の労力のことも考えると、行政評価に関わっている労力が全体的に重い。行政評価の手法や内容を見直していけるよう、9月議会の際に議長から話があった。
- ・重点ヒアリングが終わり、これから予算編成方針や財政見通しの修正の作業に入っていく。方針に沿って、何を重点に何をしていくのか、これから考える時間はしっかりあるので、精度上げていただきたい。大きな変更があると、財政見通しにも影響してくる。財政見通しも含めて協議の時間をしっかりとりたい。

＜教育長＞

- ・歴史研究所の吉田所長ご本人からの申出により、9月末で退任されることとなった。歴史研究所創設前から関わっていただき、全国的に稀な地方の市町村での研究機関として、研究、運営の面でご指導ご尽力いただいたことに感謝を申し上げたい。なお、後任については時間をかけて準備をしていきたい。その間の業務等について基本的には私が代理となる。
- ・令和5年飯田市議会第3回定例会の中で、すれ違う部分が出てしまったと反省をしている。改めて議員が言わんとする趣旨をしっかりと理解しないといけないと感じた。一生懸命聞き取っていただいているが、当日お聞きしないと意図や思いが分かっていない部分があった。次回に生かしていきたい。

2 報告事項

(1) 令和5年度長野県国民保護共同実動訓練について

◇趣旨

- ・令和5年度長野県国民保護共同実動訓練について報告する。
(危機管理部長)
- ・1月18日の訓練では、緊急事態の警戒本部、対策本部の会議をそれぞれ開催する見込みになっている。各部署等の長は対策本部員になるので、スケジュールを確保していただきたい。

(2) 公用車の事故防止対策及び飲酒運転の根絶について（報告）

◇趣旨

- ・公用車の事故防止対策及び飲酒運転の根絶について報告する。

◇意見

（市長）

- ・非常に大事なこと。特に飲酒運転は絶対にあってはいけない。
- ・9月5日と9月14日は同じ車での事案である。車が新しくなり、サイズも大きくなったと聞いている。こうしたリスクがありそうな時には、特に気をつけること。
- ・もう1件の案件でも、新しい車両が納品され、初めての運転で事故を起こしたものの。車が納品されたら、みんなで車に慣れてから、業務で使用する。リスクの種はできるだけお互いに潰す努力をしたい。

（会計管理者）

- ・職員の多くが、バックモニター搭載の車を所有している。古い公用車はバックモニターが搭載されていないことが多く、事故の原因になっている。

（企画部長）

- ・今回報告があったことを機会に、各職場で4月に掲示した交通安全に関する宣言書の見直しをするなど再度徹底をお願いしたい。

(3) 財務事務の見直し方針について

◇趣旨

- ・財務事務の見直し方針について報告する。

◇意見

（会計管理者）

- ・10万円以下は見積もりがいらぬということだが、10万円というと比較的高額だと思うので、市民への説明責任を含めて、なぜその業者を選んだのか根拠が分かるような手続きが必要。
- ・改めて事務フローをきちんと示していただき、引き続き公平性が保たれるような工夫をすること。

（財政課長）

- ・10万円以下の場合、見積書を省略できる規定としているが、あくまで「できる」規定。予定価格が不明なものについては、引き継ぎ見積書を徴していただくことが基本。その辺も含めて、財政課で事務フロー等を検討したい。

（副市長）

- ・随意契約における事務処理（見積書を徴さないことができる基準金額の引上げ）はあくまでも特例。元々財務規則の趣旨は予定価格をきちっと2社見積もりを取って判断できることが前提。全体として財務規則があつての特例だと周知すること。

(4) 会計事務3S強化月間中の伝票返戻調査結果及び会計事務の留意点について

◇趣旨

- ・会計事務3S強化月間中の伝票返戻調査結果及び会計事務の留意点について報告する。

◇意見

（市長）

- ・伝票返戻が多かった部署は、特別な事情や構造的な問題があつたのか。

（産業経済部長）

- ・今原因を調べてもらっている。ケアレスミスのなものが多いのではないかという感触だが、きちんと分析をする。産業経済部は10月中は改善月間とする。

（教育長）

- ・インボイスについて、各機関で手続き上変更するようなことはあるか。

（会計管理者）

- ・財政課で通知を出しているが、該当するところは請求書に飯田市のインボイスの番号を記載する等の指示をしている。
- ・財務会計システムから出る納付書については、納付書の裏面に飯田市のインボイスの番号の記載がある。

(5) 飯田市議会からの提言書「いいだ未来デザイン 2028」の中期計画最終年へ向けてについて

◇趣旨

- ・飯田市議会からの提言書「いいだ未来デザイン 2028」の中期計画最終年へ向けてについて報告する。
(企画部長)
- ・9月29日に正副議長及び各委員長から市長へ提言書の提出があった。今一度ご確認いただき、予算編成や戦略計画の策定にあたり、内容も踏まえた検討をお願いしたい。予算編成時に提言についての回答を取りまとめ、3月議会で対応状況をお示しする。
- ・委員会の所管事務調査に基づく提案等についても同様の対応となる。3月議会にこの提言書の回答と併せ出していく。

3 令和5年飯田市議会第3回定例会の反省について

(市民協働環境部長)

- ・一般質問で数値に関する質問があり、答弁に戸惑ってしまった。数値や金額を聞く際のルールについて、改めて確認するとともに、聞き取りの中できちんと対応する必要性を強く感じた。

(総務部長)

- ・質問する際に数字の話聞く時は、議員側から言わなければいけないのでは。

(議会事務局長)

- ・そのとおり。

- ・一般質問の残り時間がなくなったので、総括質疑、総括答弁をお願いするとの発言があった。一問一答ではなかったため、ルール違反。議長が注意をした。

(危機管理部長)

- ・時間が余って、最後に市長に一言という質問の流れはいかがなものか。

(市長)

- ・国や県の施策について、私の発言を求められても何とも言いようがない点はあった。

- ・お互いに言葉使いを気をつけたい。

- ・質問の中で、診療看護師の数と男性看護師の数を一緒に質問した。無意識のうちに男性看護師は女性看護師よりもスキルが高い、何か特別だと聞こえる質問だった。ジェンダーバイアスがかかっていると感じた。

- ・「障がいをお持ちの方」と言ってしまうが、障がいのある方々に持つという主体的な意思はなく、「障がいがある方」と言うべきだと思う。言葉に気を付けないといけない。障がいだけでなく、発達特性も同様。

(企画部長)

- ・役職を「さん」付けで呼ぶことがあったので、気を付けること。

(総務部長)

- ・主要な施策の成果説明書の記載については、再三内容の確認をするようお願いしてきているが、開会日や委員会で修正のお願いをすることになった。最終的に委員会で説明するのは課長であり、課長が説明原稿を議会開会間際に作り始めて、やっと修正点が発見されるのが現状であろうと思う。説明をする各課長がお盆の前あたりに説明の原稿を作成し始めれば、誤りも発見でき、冊子を印刷する前に対応ができる。

- ・本会議で初日に議案の説明をするが、条例改正に関して、本会議で各部局長が各条の改正文を読み上げる必要があるのか。本会議の場では概要を説明した方がいいのではないか。議案の細かい改正の説明は、委員会で実施すればいいと思う。考え方を再度確認しておきたい。

(議会事務局長)

- ・明確に規定されたものがあるわけではないが、議員は読めば分かる。分かることを取って説明する必要はない。改正の趣旨や改正の背景といった審議に必要なことを丁寧に説明いただければ、円滑な議論につながる。

(企画部長)

- ・特に委員会が多かったが、タブレットで通知をする時に、課長が1人で説明をしながら通知をする方がいたため、空白の時間があった。同じ部内の課長同士で通知を送り合うなど、工夫をしていただきたい。

- ・本会議でサイドボックスの動きが悪い時があった。原因は不明だが、コロナ禍の際にはサイドボックスを使用する人数を制限していたが、フルメンバーで使用したためと思われる。議会側と執行機関側でWi-Fiを切り替えて対応することで、比較的緩和された。今後も様子を見ながら、対応していきたい。

(会計管理者)

- ・一般会計の決算書の資料が少し見づらかった。決算書の印刷は業者へお願いしているが、業者が全て画像で

取り込んでしまい、容量がすごく大きくなり、議会のサイドボックスへ載らなくなってしまった過去の経緯を踏まえて、容量を小さくするため、少し画素数を落としたので、非常に見づらくなってしまった。これは昨年会計課から送ったデータを業者で取り込んだ時に、文字化けを起こしてしまった部分があったので、それを避けるために業者さんの方で良かれと思って画像で取り込んでくれたが、それが裏目に出てしまった。来年はそういうことがないように、業者としっかり調整したい。

(市民協働環境部長)

- 言葉の読み方について、再度徹底した方がいい。「下段 (げだん)」を「下段 (かだん)」と読む方が多い。
(副市長)
- 決算審査の講評を監査員からお聞きする時があったが、資料の修正が非常に多いとおっしゃっていた。決算審査の資料の作成から主要な施策の成果説明書の作成の一連の作業の中で修正があれば、ちゃんと修正するくせをつけること。
(企画部長)
- 毎回議会で修正があるので、気を付けていただきたい。現在、定期監査の資料の作成中だと思われるが、再度確認すること。

4 その他、連絡事項

(健康福祉部長)

- 10月1日から赤羽共同募金が始まった。ぜひご協力いただきたい。
(企画部長)
- 部長会議、政策会議・政策協議の資料の提出は3日前となっている。ご協力をお願いしたい。
- 各種イベント等で県議会議員を来賓として招待する場合は、選挙区が飯田下伊那で一選挙区となっているため、市内市外で分けずに、統一して招待するように気を付けること。
(教育次長)
- 10月22日に飯田信用金庫主催で第20回萩元晴彦ホームタウンコンサートが開催される。非常に良いジュリアード弦楽四重奏団の皆さんの演奏なので、ぜひご聴講をお願いしたい。

5 閉会